2014年3月期決算
中期経営計画2016 説明会

2014年5月13日
宝ホールディングス株式会社

本日の内容

1. 2014年3月期決算 レビュー
   - 宝ホールディングス連結
   - 宝酒造グループ
2. 2015年3月期業績予想
   - 宝ホールディングス連結
   - 宝酒造グループ
3. TaKaRaグループ中期経営計画2016
   - 中期経営計画2013 レビュー
   - 中期経営計画2016 概要
4. 宝酒造グループ中期経営計画2016

1. 2014年3月期決算 レビュー

宝ホールディングス連結

宝HLD連結_P/L概要：売上高～営業利益

（2014年3月期）

（単位：百万円）	14/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/1予想比 増減	11/1予想比 率(%)
宝酒造グループ	182,306	5,360	3.0	206	0.1
タカラバイオグループ	23,905	3,341	16.2	205	0.9
宝ヘルスケア	1,424	▲ 584	▲ 29.1	74	5.5
その他	1,931	462	31.4	81	4.4
売上高	209,568	8,579	4.3	568	0.3
売上原価	129,447	5,816	4.7	947	0.7
売上総利益	80,121	2,762	3.6	▲ 378	▲ 0.5
運送費	7,708	384	5.3	8	0.1
広告宣伝費	3,546	▲ 251	▲ 6.6	46	1.3
販売促進費	32,954	116	0.4	▲ 445	▲ 1.3
研究開発費	3,376	285	9.2	▲ 323	▲ 8.7
管理費、その他	23,044	1,870	8.8	144	0.6
販売費及び一般管理費	70,631	2,405	3.5	▲ 568	▲ 0.8
宝酒造グループ	6,329	▲ 58	▲ 0.9	129	2.1
タカラバイオグループ	1,954	262	15.5	53	2.8
宝ヘルスケア	21	43	ー	13	168.6
その他	1,184	108	10.1	▲ 6	▲ 0.6
営業利益	9,490	356	3.9	190	2.0

宝HLD連結_P/L概要：営業利益～経常利益

（2014年3月期）

（単位：百万円）	14/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/1予想比 増減	11/1予想比 率(%)
営業利益	9,490	356	3.9	190	2.0
受取利息	197	16	9.0		
受取配当金	364	10	2.8		
受取利息・配当金	562	26	4.9	62	12.5
持分法投資利益	125	29	30.4		
為替差益	27	27	―		
補助金収入	164	2	1.6		
その他	241	11	4.9		
その他営業外収益	559	70	14.5	59	12.0
営業外収益	1,122	97	9.5	122	12.2
支払利息	172	8	5.0		
社債利息	292	▲ 67	▲ 18.8		
支払利息	464	▲ 59	▲ 11.3	▲ 35	▲ 7.1
社債発行費	―	▲ 76	―		
為替差損	―	▲ 105	―		
たな卸資産廃棄欠減損	65	35	117.1		
その他	173	47	37.5		
その他営業外費用	238	▲ 99	▲ 29.5	38	19.3
営業外費用	703	▲ 158	▲ 18.4	3	0.5
経常利益	9,909	612	6.6	309	3.2

宝HLD連結_P/L概要：経常利益～当期純利益

（2014年3月期）

（単位：百万円）	14/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/1予想比 増減	11/1予想比 率(%)
経常利益	9,909	612	6.6	309	3.2
関係会社株式売却益	9,261	9,261	―		
固定資産売却益	22	▲ 1,206	▲ 98.1		
退職給付制度改定益	―	▲ 345	―		
その他	281	▲ 92	▲ 24.7		
特別利益	9,565	7,616	390.9	165	1.8
固定資産譲渡損	317	317	―		
固定資産除売却損	197	▲ 424	▲ 68.2		
投資有価証券評価損	16	▲ 634	▲ 97.4		
厚生年金基金脱退拠出金	―	▲ 260	―		
関係会社株式売却損	―	▲ 262	―		
その他	301	108	56.4		
特別損失	832	▲ 1,156	▲ 58.2	▲ 367	▲ 30.6
税金等調整前当期純利益	18,642	9,386	101.4	842	4.7
法人税等	7,635	3,627	90.5	35	0.5
少数株主利益	726	165	29.6	226	45.2
当期純利益	10,280	5,593	119.3	580	6.0

1. 2014年3月期決算 レビュー

宝酒造グループ

宝酒造G_P/L概要

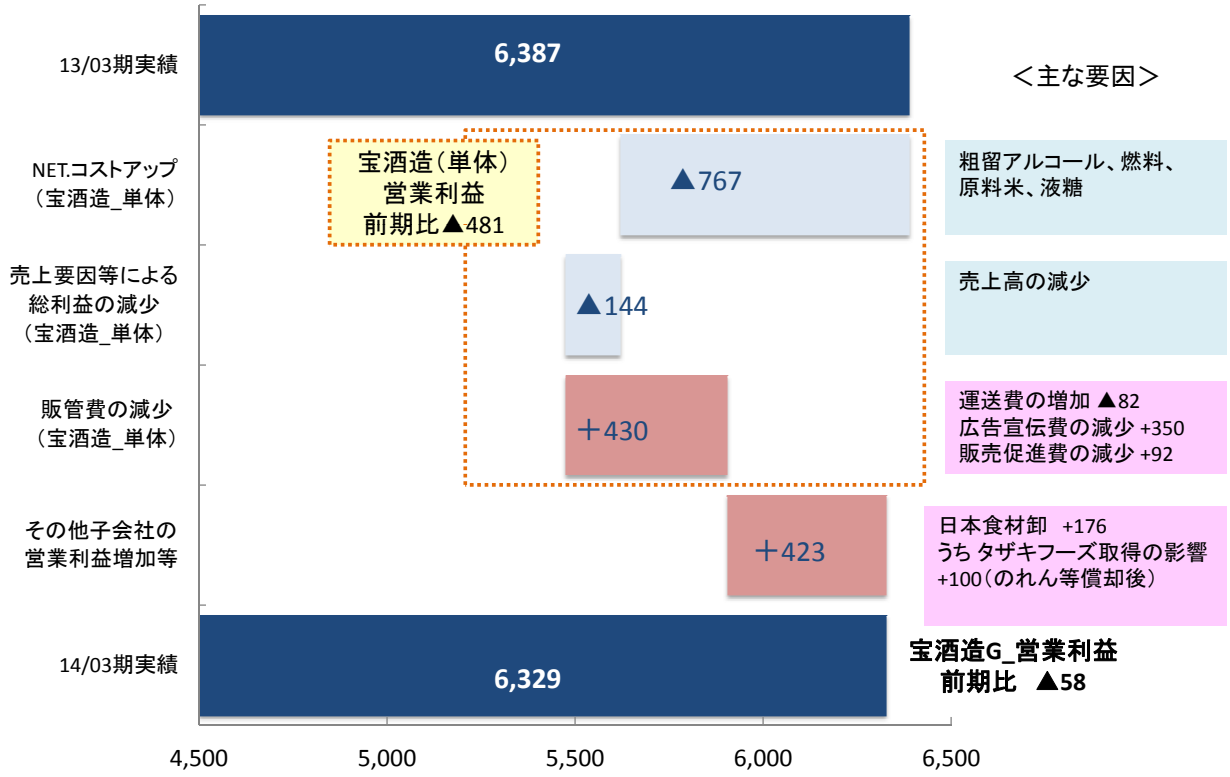
（2014年3月期）

（単位:百万円）	14/03期 実績	前期比 増減	前期比 率(%)	11/1予想比 増減	11/1予想比 率(%)
焼酎	65,977	▲ 4,653	▲ 6.6	▲ 722	▲ 1.1
清酒	23,513	1,776	8.2	▲ 486	▲ 2.0
ソフトアルコール飲料	26,772	1,015	3.9	▲ 827	▲ 3.0
その他酒類	12,583	1,536	13.9	683	5.7
本みりん	14,886	333	2.3	386	2.7
その他調味料	8,645	815	10.4	145	1.7
原料用アルコール等	6,899	▲ 22	▲ 0.3	99	1.5
その他	23,028	4,559	24.7	928	4.2
売上高	182,306	5,360	3.0	206	0.1
売上原価	116,619	4,235	3.8	719	0.6
売上総利益	65,686	1,124	1.7	▲ 513	▲ 0.8
運送費	7,067	398	6.0	▲ 32	▲ 0.5
広告宣伝費	3,115	▲ 305	▲ 8.9	15	0.5
販売促進費	31,889	74	0.2	▲ 510	▲ 1.6
研究開発費	341	▲ 22	▲ 6.1	▲ 58	▲ 14.6
管理費、その他	16,943	1,037	6.5	▲ 56	▲ 0.3
販売費及び一般管理費	59,357	1,182	2.0	▲ 642	▲ 1.1
営業利益	6,329	▲ 58	▲ 0.9	129	2.1

宝酒造G_営業利益増減分析

（2014年3月期）

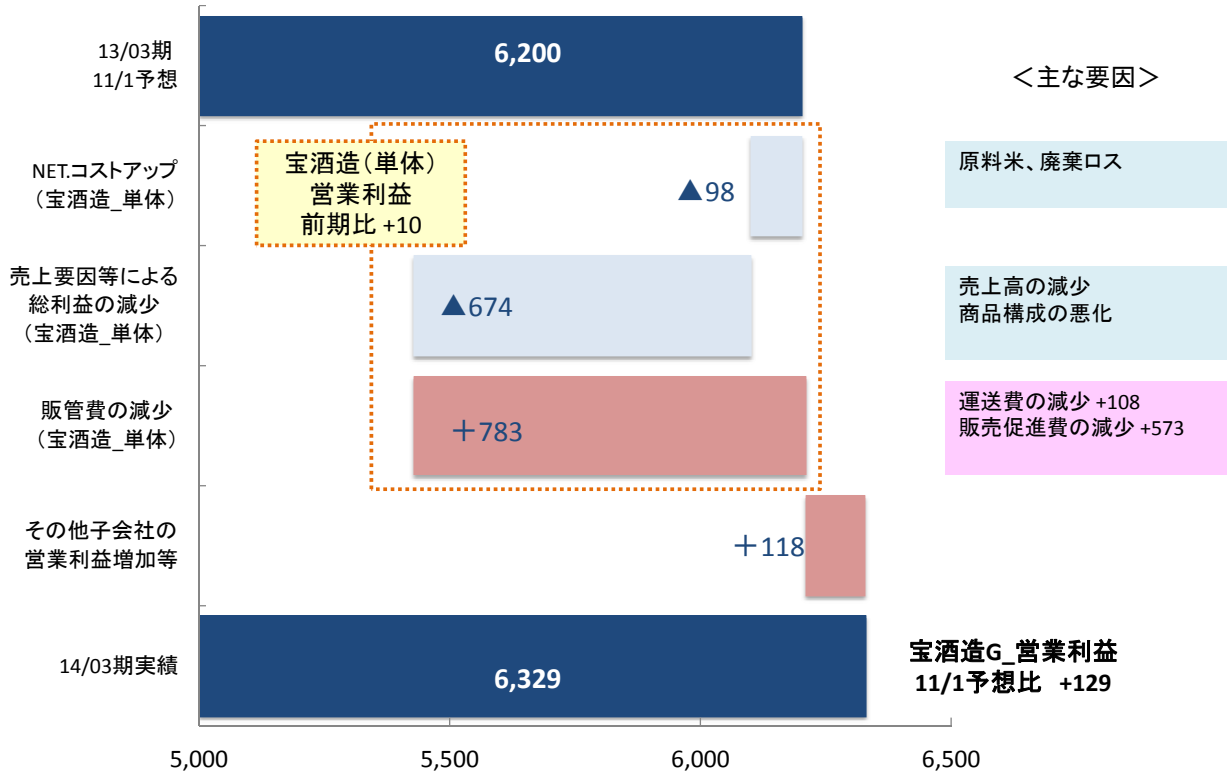
●前期比 （単位：百万円）



宝酒造G_営業利益増減分析

（2014年3月期）

●11/1予想比 （単位：百万円）



2. 2015年3月期業績予想

宝ホールディングス連結

宝HLD連結_P/L概要：売上高～営業利益

（2015年3月期　業績予想）

（単位：百万円）	15/03期 業績予想	前期比 増減	前期比 率(%)
宝酒造グループ	189,500	7,193	3.9
タカラバイオグループ	25,200	1,294	5.4
宝ヘルスケア	1,580	155	10.9
その他	1,720	▲ 211	▲ 11.0
売上高	218,000	8,431	4.0
売上原価	134,000	4,552	3.5
売上総利益	84,000	3,878	4.8
運送費	8,000	291	3.8
広告宣伝費	3,600	53	1.5
販売促進費	33,500	545	1.7
研究開発費	4,000	623	18.5
管理費、その他	25,100	2,055	8.9
販売費及び一般管理費	74,200	3,568	5.1
宝酒造グループ	6,800	470	7.4
タカラバイオグループ	2,000	45	2.3
宝ヘルスケア	30	9	42.0
その他	970	▲ 214	▲ 18.1
営業利益	9,800	309	3.3

宝HLD連結_P/L概要：経常利益～当期純利益　（2015年3月期　業績予想）

（単位：百万円）	15/03期 業績予想	前期比 増減	前期比 率(%)
営業利益	9,800	309	3.3
受取利息・配当金	600	37	6.7
その他営業外収益	500	▲ 59	▲ 10.7
営業外収益	1,100	▲ 22	▲ 2.0
支払利息	600	135	29.2
その他営業外費用	300	61	25.7
営業外費用	900	196	28.0
経常利益	10,000	90	0.9
特別利益	ー	▲ 9,565	ー
特別損失	300	▲ 532	▲ 64.0
税金等調整前当期純利益	9,700	▲ 8,942	▲ 48.0
法人税等	3,700	▲ 3,935	▲ 51.5
少数株主利益	700	▲ 26	▲ 3.6
当期純利益	5,300	▲ 4,980	▲ 48.4

2. 2015年3月期業績予想

宝酒造グループ

宝酒造G_P/L概要

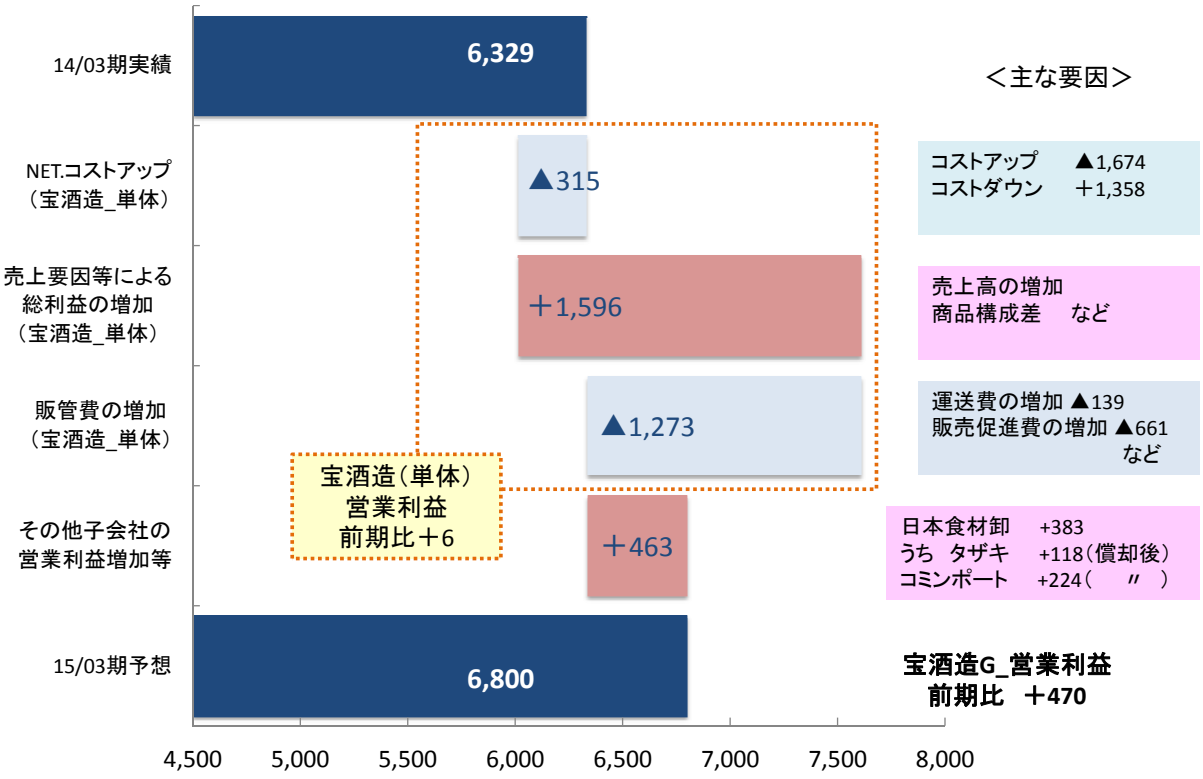
（2015年3月期　業績予想）

（単位：百万円）	15/03期 業績予想	前期比 増減	前期比 率(%)
焼酎	63,900	▲ 2,077	▲ 3.1
清酒	26,300	2,786	11.9
ソフトアルコール飲料	27,400	627	2.3
その他酒類	12,800	216	1.7
本みりん	14,300	▲ 586	▲ 3.9
その他調味料	9,300	654	7.6
原料用アルコール等	7,300	400	5.8
日本食材卸	14,500	5,422	59.7
その他	13,700	▲ 250	▲ 1.8
売上高	189,500	7,193	3.9
売上原価	121,000	4,380	3.8
売上総利益	68,500	2,813	4.3
運送費	7,400	332	4.7
広告宣伝費	3,100	▲ 15	▲ 0.5
販売促進費	32,500	610	1.9
研究開発費	400	58	17.1
管理費、その他	18,300	1,356	8.0
販売費及び一般管理費	61,700	2,342	3.9
営業利益	6,800	470	7.4

宝酒造G_営業利益増減分析

（2015年3月期　業績予想）

●前期比　（単位：百万円）



3. TaKaRaグループ中期経営計画2016

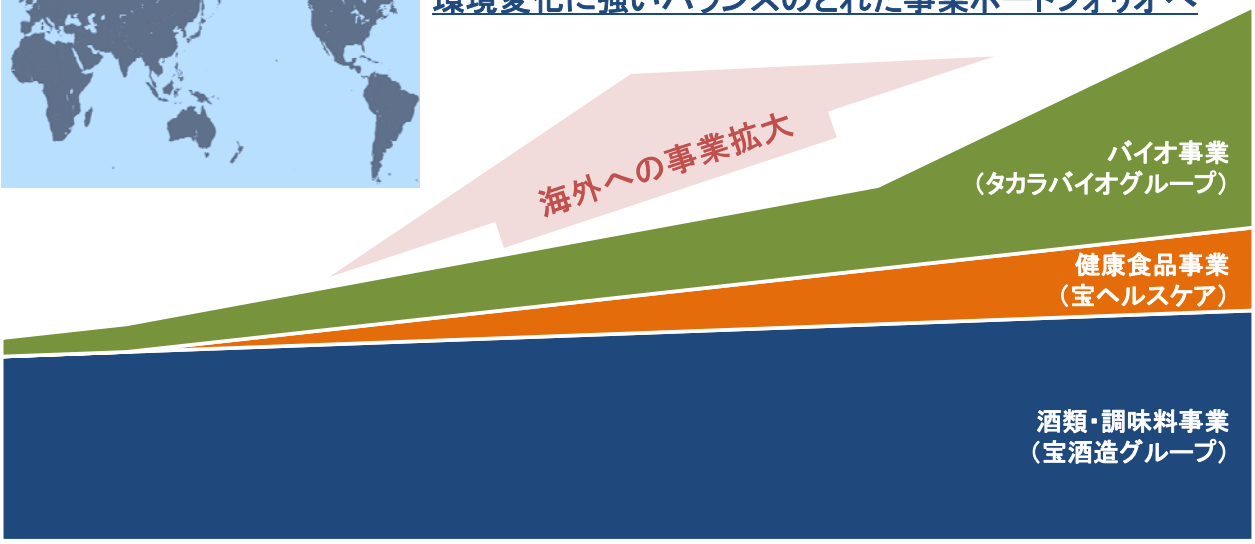
「中期経営計画2013」レビュー

TaKaRaグループ・ビジョン2020（2011年度～2020年度）

経営目標

国内外の強みを活かせる市場で事業を伸ばし、環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立する。

国内外において
環境変化に強いバランスのとれた事業ポートフォリオへ



安定収益基盤と成長事業を有する独自の強固な事業ポートフォリオ

「中期経営計画2013」(2011.04～2014.03)の振り返り_概要

基本方針

「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現に向けて、
国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する。

事業の位置付けと事業方針

基盤事業	●国内酒類事業	中核事業として収益力の強化に取り組み グループの成長を支える。
成長事業	●海外酒類事業 および日本食材卸事業 ●調味料・酒精事業 ●遺伝子工学研究事業	成長が見込まれる市場で、積極的に事業拡大を 図り、グループ全体の成長を牽引する。
育成事業	●健康食品事業 ●遺伝子医療事業	成長が見込まれる市場で、次期の成長事業化を 目指し、事業基盤の確立に取り組む。

風土・人財の育成　グループ経営基盤の強化　社会・環境行動の推進

財務方針　健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、
積極的な株主還元を実施し、ROE(自己資本利益率)の向上を目指す。

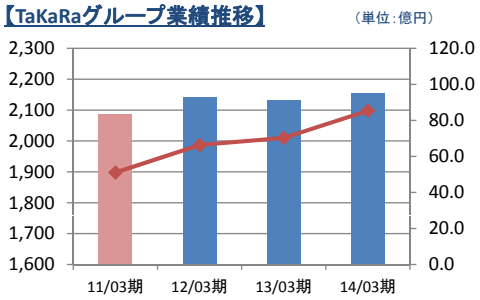
「中期経営計画2013」(2011.04～2014.03)の振り返り_定量目標

TaKaRaグループ

連結売上高、海外売上高比率は目標達成も、営業利益は未達

指標	目標	結果
連結売上高	2,000億円以上	**2,095億円**
連結営業利益	100億円以上	**94億円**
海外売上高比率	10%以上	**13%**

【TaKaRaグループ業績推移】

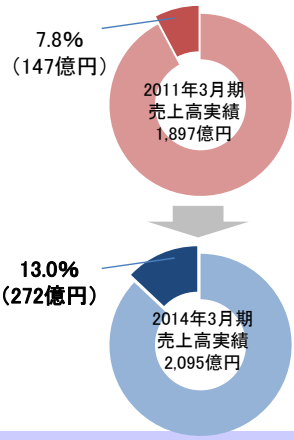


※折れ線グラフは売上高、棒グラフは営業利益を示す(以後同じ)

【TaKaRaグループ業績】

(単位:百万円)	11/03実績	14/03計画(中計)	14/03実績	11/03実績比 増減	11/03実績比 率	14/03計画(中計)比 増減	14/03計画(中計)比 率
宝酒造G	166,790	180,000	182,306	15,516	109.3%	2,306	101.3%
タカラバイオG	18,737	22,700	23,905	5,168	127.6%	1,204	105.3%
宝ヘルスケア	2,567	2,600	1,424	△ 1,143	55.5%	△ 1,175	54.8%
その他(連結消去含む)	1,673	1,700	1,931	258	115.4%	231	113.6%
売上高	189,769	207,000	209,568	19,799	110.4%	2,568	101.2%
宝酒造G	6,568	7,700	6,329	△ 239	96.4%	△ 1,370	82.2%
タカラバイオG	1,097	1,300	1,954	856	178.0%	653	150.2%
宝ヘルスケア	△ 252	20	21	274	−	1	107.4%
その他(連結消去含む)	921	1,080	1,184	263	128.6%	104	109.7%
営業利益	8,335	10,100	9,490	1,154	113.9%	△ 609	94.0%

【海外売上高比率】



「中期経営計画2013」(2011.04~2014.03)の振り返り_事業戦略

グループ別成果と課題

	宝酒造グループ	タカラバイオグループ	宝ヘルスケア
総括	**連結売上高は目標を達成したが営業利益は未達** 海外事業の基盤を構築するも、国内事業の収益力が低下	**連結売上高、営業利益ともに目標を達成** 遺伝子工学研究事業が安定成長、利益に貢献	**営業利益黒字化を達成**
成果	・松竹梅白壁蔵「澪」スパークリング清酒をはじめとする、差異化商品の発売 ・「焼酎ハイボール」の売上拡大 ・清酒　国内出荷量第2位へ躍進 ・欧州での日本食材卸販売網の拡大 ・海外酒類事業の安定的成長	・遺伝子工学研究事業の売上拡大 ・将来の事業基盤となる、バイオ医薬品の開発支援サービス(CDMO事業)を立ち上げ ・HSV-TKやTCR、MazF遺伝子治療、HF10等の臨床開発プロジェクトを推進	・2014年3月期　営業黒字化 ・通販事業の成長加速
課題	・粗留アルコールほか原材料のコストアップ等による製造原価の上昇 ・商品構成の変化による利益率低下	・医食品バイオ事業の黒字化の遅れ	・「フコイダン」に次ぐ、第2第3の柱となる製品の育成

「中期経営計画2013」(2011.04~2014.03)の振り返り_財務方針

財務方針

健全な財務体質を維持しながら、成長・育成事業への投資と、積極的な株主還元を実施し、ROE(自己資本利益率)の向上を目指す。

成果　(3ヶ年累計または14/03期実績)

- 自己資本比率　50.9%
- 成長、育成事業への投資　100億円以上
- 株主還元総額　約100億円
- 株主還元性向　60.6%
- ROE　9.3%　(2011/03期 +4.0%)
  ※一時的要因を含む(タカラバイオ株式売却)

(単位:百万円)	12/03実績	13/03実績	14/03実績	3ヶ年累計
営業CF	9,013	7,967	7,233	24,214
投資CF	△ 4,779	△ 3,672	△ 12,254	△ 20,706
うち設備投資(バイオCDMO事業)	–	△ 1,322	△ 4,192	△ 5,514
うち関係会社株式取得	–	△ 1,249	△ 5,743	△ 6,992
うちタカラバイオ株式売却	–	–	12,241	12,241
財務CF	△ 3,265	1,229	2,562	526
うちタカラバイオ増資	–	–	11,419	11,419
うち自社株取得	△ 1,085	△ 1,582	△ 1,521	△ 4,189
うち配当金支払	△ 1,768	△ 1,851	△ 1,827	△ 5,447
現金同等物　期末残高	29,165	35,287	34,608	34,608
1株あたり配当金(円)	9.0	9.0	11.0	—
配当総額	1,851	1,825	2,213	5,890
株主還元総額	2,921	3,391	3,685	9,998
株主還元性向	51.7%	58.9%	60.6%	57.2%
ROE(当期純利益/自己資本)	4.2%	4.8%	9.3%	–
自己資本比率	48.0%	48.2%	50.9%	–

《基本方針》

$$\text{株主還元性向} = \frac{\text{株主還元総額(配当総額＋自己株式取得総額)}}{\text{みなし連結当期純利益*}} \geqq 50\%$$

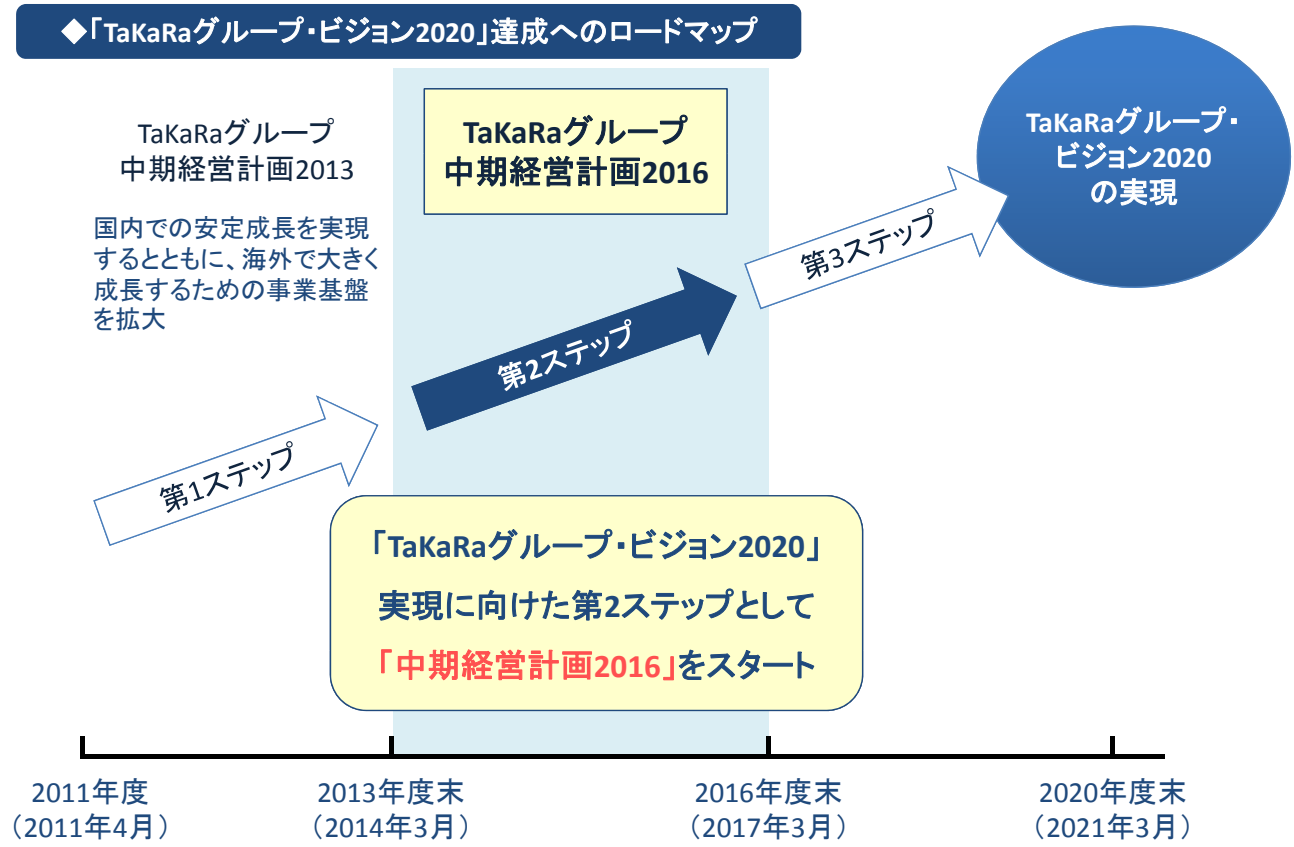
*みなし連結当期純利益＝(連結経常利益－受取利息・配当金＋支払利息)×(1－法定実効税率)

3. TaKaRaグループ中期経営計画2016

「中期経営計画2016」概要

TaKaRaグループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）の位置付け

◆「TaKaRaグループ・ビジョン2020」達成へのロードマップ



環境変化

TaKaRaグループに影響を与える環境変化

	宝酒造グループ	タカラバイオグループ
国内	**消費市場の縮小と消費者ニーズの多様化** ◆人口減少と少子高齢化による酒類・調味料消費の減退 ◆輸入原料価格の高騰 ◆女性の社会進出増加による中食・外食市場の拡大と、新たな飲酒ニーズの創出 ◆健康・安心安全志向の高まりによる、低アルコール・低カロリー商品の需要増	**再生・細胞医療市場の成長** ◆再生・細胞医療分野での政府による普及施策や制度改定の推進 研究開発の活発化 細胞加工の外部委託の実現 新薬の早期承認制度の実現
海外	**日本食市場や新興国のマーケット拡大** ◆和食のユネスコ無形文化遺産登録による海外日本食市場の拡大 ◆新興国の富裕層・中間層増加による新たなマーケット成長の期待	**バイオ関連市場の世界的拡大** ◆医療の高度化や新興国の経済成長に伴う バイオ関連市場の拡大

TaKaRaグループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）_概要

基本方針

「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現に向けて、
国内では収益力の向上、海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、
バイオ事業の成長加速により、環境変化に強いバランスのとれた事業構造に変革していく

定量目標

2017年3月期　TaKaRaグループ連結　売上高 2,300億円以上　営業利益 120億円以上
海外売上高比率 16%以上

事業戦略

宝酒造グループ	技術で差異化された商品の開発・育成により、国内事業の収益力を向上させるとともに、日本食材卸網を積極的に拡大し、海外事業を大きく伸長させる
タカラバイオグループ	再生・細胞医療分野へ戦略的な投資を行い、バイオ事業の成長を加速させる
宝ヘルスケア	ダイレクトマーケティングを通じて、健康食品事業の成長を加速させる

重点戦略

「澪」を中心とした清酒売上高の拡大	バイオ医薬品の開発支援サービス（CDMO事業）拡大
欧米をはじめとする世界での日本食材卸網構築	遺伝子治療・細胞医療における臨床開発の推進

風土・人財の育成　グループ経営基盤の強化　社会・環境行動の推進

財務方針

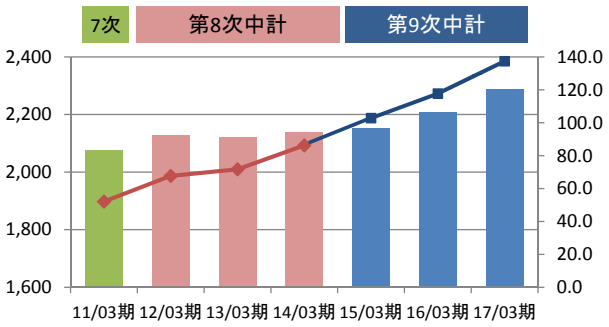
健全な財務体質を維持しながら、資本効率を意識し、
利益成長のための重点戦略への積極的な投資と、適切な株主還元を実施する

TaKaRaグループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）_定量目標

定量目標

2017年3月期TaKaRaグループ連結 売上高 2,300億円以上　営業利益 120億円以上　海外売上高比率 16%以上

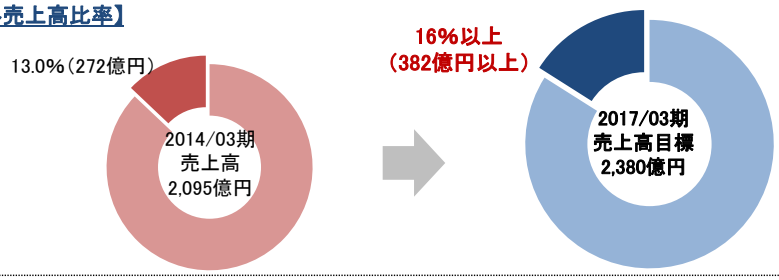
【TaKaRaグループ業績推移目標】　（単位：億円）



【TaKaRaグループ業績】

（単位：百万円）	14/03実績	17/03計画（中計）	14/03比 増減	14/03比 率
宝酒造G	182,306	206,000	23,693	113.0%
タカラバイオG	23,905	28,000	4,094	117.1%
宝ヘルスケア	1,424	2,000	575	140.4%
その他（連結消去含む）	1,931	2,000	68	103.5%
売上高	209,568	238,000	28,431	113.6%
宝酒造G	6,329	8,500	2,170	134.3%
タカラバイオG	1,954	2,250	295	115.1%
宝ヘルスケア	21	100	78	465.4%
その他（連結消去含む）	1,184	1,350	165	113.9%
営業利益	9,490	12,200	2,709	128.6%

【海外売上高比率】



TaKaRaグループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）_事業戦略

事業戦略

宝酒造グループ	技術で差異化された商品の開発・育成により、国内事業の収益力を向上させるとともに、日本食材卸網を積極的に拡大し、海外事業を大きく伸長させる
タカラバイオグループ	再生・細胞医療分野へ戦略的な投資を行い、バイオ事業の成長を加速させる
宝ヘルスケア	ダイレクトマーケティングを通じて、健康食品事業の成長を加速させる

重点戦略

- 「澪」を中心とした清酒売上高の拡大
- バイオ医薬品の開発支援サービス（CDMO事業）拡大
- 欧米をはじめとする世界での日本食材卸網構築
- 遺伝子治療・細胞医療における臨床開発の推進

財務方針

財務方針

➢健全な財務体質を維持しながら、資本効率を意識し、利益成長のための重点戦略への積極的な投資と、適切な株主還元を実施する

健全な財務体質の維持

◆格付「シングルA」を維持する

利益成長のための積極的投資

◆健全な財務体質を維持しながら、利益成長のために、国内酒類設備（「澪」増産）、海外M&A（日本食材卸拡大）、バイオ設備（CDMO事業強化）、バイオ研究開発（臨床開発プロジェクト）への投資を積極的に行う

資本効率を意識した適切な株主還元

◆連結営業利益の水準に応じて増配を実施し、みなし配当性向*30%を目安に配当を行う

◆自己株式取得についても、状況に応じて機動的な実施を検討する

$$*\text{みなし配当性向} = \frac{\text{配当総額}}{\text{連結営業利益} \times (1 - \text{法定実効税率})} \fallingdotseq 30\%$$

積極的な投資による利益成長と自己資本のコントロールにより、ROEの向上を目指す

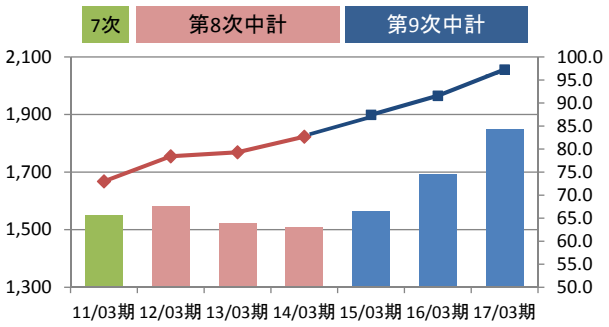
4. 宝酒造グループ中期経営計画2016

宝酒造グループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）

定量目標

2017年3月期　宝酒造グループ　連結売上高2,000億円以上　連結営業利益85億円以上　海外売上高比率12%以上

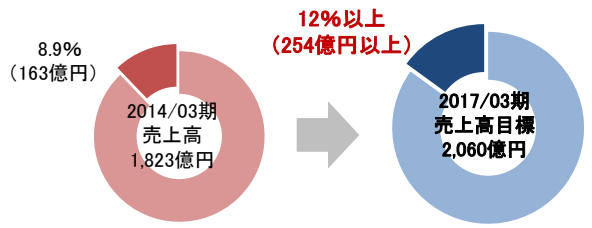
【宝酒造グループ業績推移目標】　（単位：億円）



【宝酒造グループ業績】

（単位：百万円）	14/03実績	17/03計画（中計）	14/03比 増減	14/03比 率
焼酎	65,977	59,400	△ 6,577	90.0%
清酒	23,513	30,000	6,486	127.6%
ソフトアルコール飲料	26,772	36,400	9,627	136.0%
その他酒類	12,583	12,600	16	100.1%
本みりん	14,886	16,000	1,113	107.5%
その他調味料	8,645	10,500	1,854	121.4%
原料用アルコール	6,899	8,500	1,600	123.2%
日本食材卸	9,077	17,000	7,922	187.3%
その他	13,950	15,600	1,649	111.8%
売上高	182,306	206,000	23,693	113.0%
営業利益	6,329	8,500	2,170	134.3%

【海外売上高比率】



事業戦略①　国内酒類事業

国内酒類事業

基本方針

- ➢ “松竹梅白壁蔵「澪」スパークリング清酒”を中心に清酒の売上高を拡大する
- ➢ 当社独自の技術力・開発力および商品育成力を高め、差異化された商品の開発、ブランド育成によって収益力の向上を図る

「澪」を中心とした清酒売上高の拡大

- ➢「澪」の販売数量拡大と基幹商品への育成
  - ・生産工場への設備投資による増産体制の構築
  - ・「スパークリング清酒」という新しい市場の確立による清酒市場全体の活性化
- ➢ 既存ブランドの着実な育成
  - ・家庭向け：好評の“松竹梅「天」エコパウチ”への注力
  - ・料飲店向け：松竹梅「豪快」の販売強化による業務用トップブランドへの育成

差異化された商品の開発、ブランド育成

- ➢ “TaKaRa「焼酎ハイボール」”販売拡大によるソフトアルコール辛口ゾーンでの確固たる地位の堅持
- ➢ “一刻者〈赤〉”、“よかいち〈赤〉”を牽引役とした本格焼酎の育成スピード加速
- ➢ 甲類市場全体の再活性化に向けた新商品の開発
- ➢「食塩ゼロ」訴求強化による料理用清酒の販売数量拡大
- ➢ 本みりん付加価値商品の開発

収益力の強化

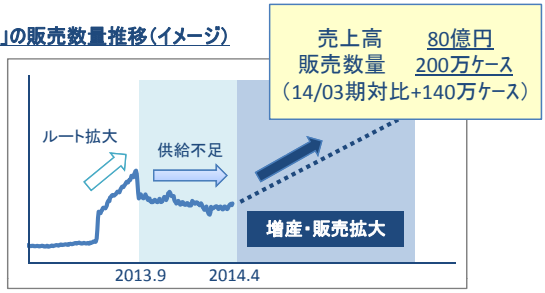
- ➢ 商品構成の見直しと製造原価コストダウンによる利益率の改善
- ➢ 利益マネジメントの強化と業務効率化の継続的推進

事業戦略① 国内酒類事業

“松竹梅白壁蔵「澪」スパークリング清酒”の展開

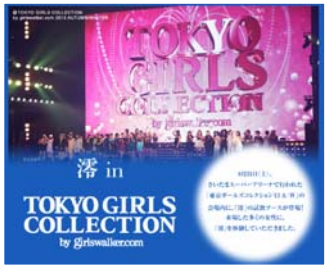
- **2013年9月より販売ルートを拡大**
  - 飲食店、百貨店、通販ルート限定から全ルートに開放
- **需要が生産能力を超過**
  - 各方面からの受注に対し、恒常的な出荷調整が続く
- **設備投資により増産体制を確立**
  - 2014年夏期より生産体制を段階的に増強、数量拡大へ

「澪」の販売数量推移（イメージ）



増産体制のもと、CM・店頭プロモーションや人気イベントとのタイアップを通じて、ファン拡大を図る

➢女優 杏（あん）さんを広告タレントに継続起用



➢東京ガールズコレクション（2013.8）

➢海外日本食レストラン（ニューヨーク）

事業戦略② 調味料・酒精事業

調味料・酒精事業

基本方針	➢拡大が予想される中食市場に対し、機能性調味料の拡充によって調味料事業の成長を進めるとともに、酒精事業では原材料価格の変動に対して機動的に対応していく

調味料事業	酒精事業
➢今後増加が想定される働く女性や高齢者などをターゲットとする加工食品メーカーのニーズに合わせ、商品の品揃えを拡充 ➢ 麹（こうじ）の物性改良特性を活用した機能性調味料など、当社の発酵・醸造技術に裏付けされた差異化商品を開発	➢円安等の影響による、粗留アルコールの仕入価格の変動への対応力を強化 ➢工業用アルコール分野では99%アルコールと95%アルコールのラインナップにより、新規得意先の開拓を加速 ➢酒類用アルコールについては、「清酒」以外のユーザー開拓にも継続して取り組み、減少傾向を抑制

市場の拡大や志向（嗜好）の多様化に対し、当社の強みを活かしながら、ユーザーのニーズにきめ細かく応えていくことで、BtoB事業の成長を加速させる

事業戦略③　海外事業

海外事業

基本方針	➢ 日本食市場の広がりを背景に、海外和酒カテゴリーでのシェア拡大を加速させるとともに、欧米をはじめとする世界での日本食材卸網構築に向け、積極的な投資を行う

日本食材卸事業

➢日本食材卸網の構築と拡大

・欧米でのネットワーク拡大、アジア・オセアニアにおける新規構築に向け、パートナー卸を選定し、業務提携・資本参加を目指す

➢日本食材調達網のインフラ構築と活用

・事業会社の原材料調達網および日本食材卸網のバイイングパワーを活用し、低コストでの安定的購買を推進(米 等)

海外酒類事業

➢米国・欧州

・清酒を中心とした日本食レストランや量販チャネルの拡大・深耕

➢中国・アジア

・中国主要都市での日本食レストランをターゲットとした清酒取扱店数拡大

・加工食品メーカーに向けた調味料の販売拡大

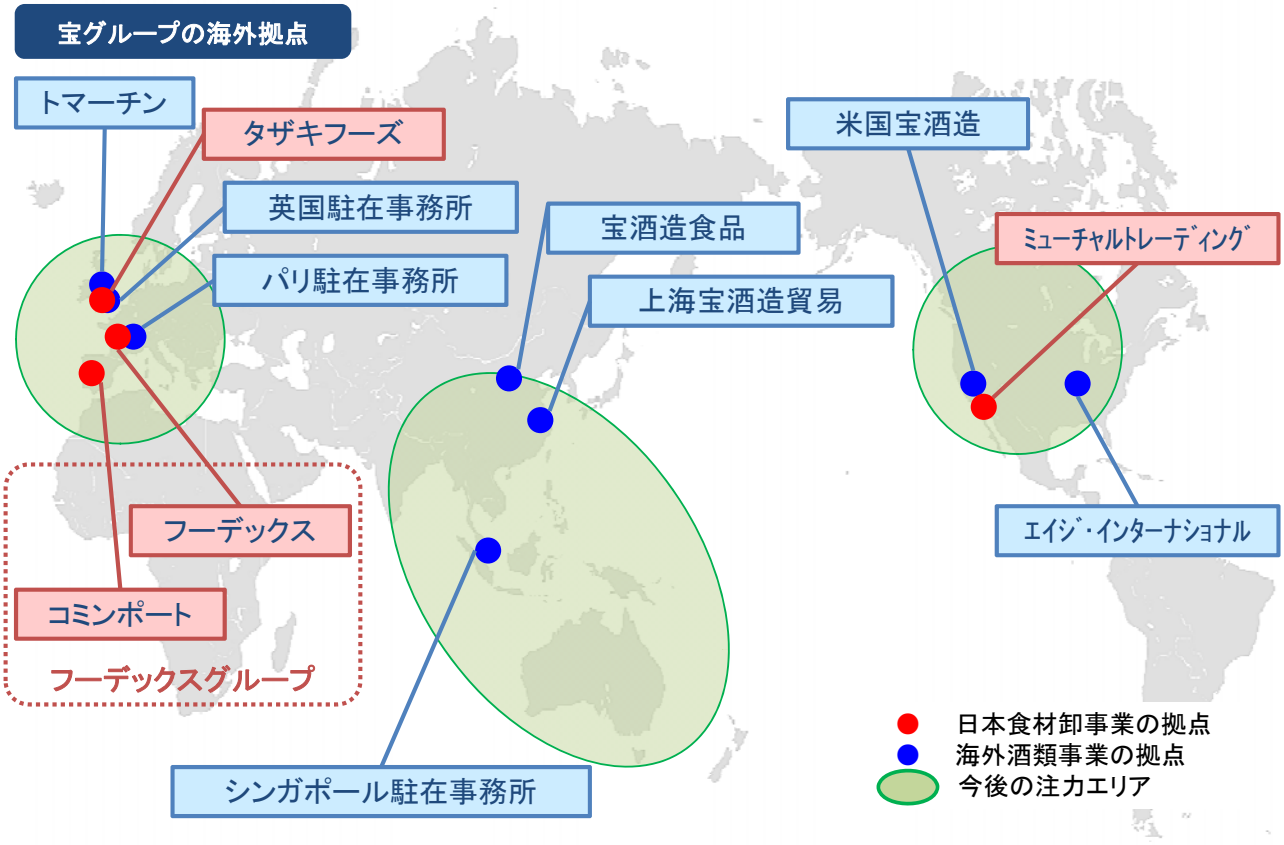
➢ウイスキー

・ブラントン、トマーチンの販売拡大による安定的利益の創出

和酒と日本の食材を組み合わせた日本食レストランへの提案など、二つの事業ドメインのシナジー効果を最大限に発揮させ、それぞれの事業成長スピードを加速させる

事業戦略③　海外事業

宝グループの海外拠点



事業戦略③　海外事業

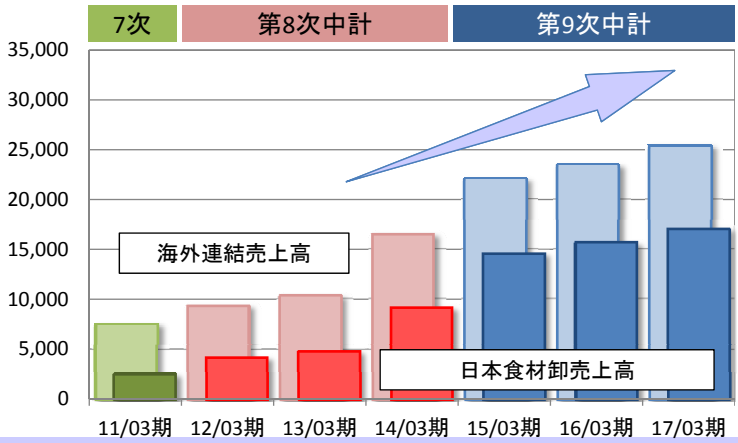
海外売上高推移計画値

（単位：百万円）	14/03実績	17/03計画（中計）	14/03比 増減	14/03比 率
焼酎	254	296	42	116.7%
清酒	2,109	2,398	289	113.7%
ソフトアルコール飲料	59	111	51	187.8%
その他酒類	4,205	4,646	441	110.5%
本みりん	477	573	95	120.0%
その他調味料	286	361	74	126.2%
原料用アルコール等	12	12	△ 0	99.7%
日本食材卸事業	9,077	17,000	7,922	187.3%
売上高	16,481	25,400	8,918	154.1%

＜米国宝製　清酒「松竹梅」＞

＜フランス系　大手寿司チェーン＞

（単位：百万円）



TaKaRaグループ中期経営計画2016（2014.04~2017.03）の方針

◆「TaKaRaグループ・ビジョン2020」達成へのロードマップ

TaKaRaグループ
中期経営計画2016

国内では収益力の向上、
海外では事業の拡大・伸長に取り組むとともに、
バイオ事業の成長加速により、
環境変化に強いバランスのとれた
事業構造に変革していく

TaKaRaグループ
中期経営計画2013

国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大

第1ステップ

第2ステップ

第3ステップ

TaKaRaグループ・ビジョン2020の実現

環境変化に強いバランスのとれた事業構造を確立

2017年3月期TaKaRaグループ連結
売上高 2,300億円以上
営業利益 120億円以上
海外売上高比率 16%以上

2011年度（2011年4月）　2013年度末（2014年3月）　2016年度末（2017年3月）　2020年度末（2021年3月）

資料中の当社および当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

＜お問合せ＞
宝ホールディングス株式会社　IR室
Tel. 075-241-5124
E-Mail　ir@takara.co.jp

＜参考資料＞

宝HLD連結_包括利益計算書

（2014年3月期）

（単位：百万円）	13/03期 実績	14/03期 実績	増減
少数株主損益調整前当期純利益	5,247	**11,006**	5,759
その他の包括利益合計	4,911	**14,845**	9,933
その他有価証券評価差額金	1,850	**1,340**	△ 509
繰延ヘッジ損益	35	**259**	223
為替換算調整勘定	2,960	**6,994**	4,034
持分法適用会社に対する持分相当額	65	**402**	337
持分変動差額	―	**5,847**	5,847
包括利益	10,158	**25,851**	15,692
（内訳）			
親会社株主に係る包括利益	8,954	**23,706**	14,752
少数株主に係る包括利益	1,204	**2,145**	940

宝HLD連結_B/S概要：資産

（2014年3月期）

（単位：億円）	13/03末	14/03末	増減	主な増減理由
流動資産	1,332	**1,505**	172	
現金及び預金	367	**410**	42	TH ▲10.1 TS ＋20.7 TB ＋30.3
受取手形及び売掛金	506	**519**	12	TS ＋9.3 TB ＋2.8
有価証券	152	**215**	62	TH ▲10.0 TS ＋11.6 TB ＋61.1
たな卸資産	257	**309**	52	TS ＋43.3 TB＋9.5
その他	48	**51**	2	
固定資産	743	**880**	137	
有形固定資産	426	**479**	53	当期の有形・無形固定資産の増減内訳
無形固定資産	54	**116**	62	新規取得 ＋89.6（TS ＋29.5 TB ＋55.3）
のれん	37	**75**	37	減価償却 ▲42.8（TS ▲29.6 TB ▲11.5）
その他	16	**41**	24	その他増減 ＋33.9
投資その他資産	262	**283**	21	
投資有価証券	210	**235**	24	
その他	51	**48**	△ 3	
資産合計	2,075	**2,385**	309	

（TH：宝HLD、TS：宝酒造グループ、TB：タカラバイオグループ）

宝HLD連結_B/S概要：負債・純資産

（2014年3月期）

（単位：億円）	13/03末	14/03末	増減	主な増減理由
流動負債	493	486	△ 7	
支払手形及び買掛金	130	144	13	TS ＋14.3 TB ＋4.9
借入金・社債	100	59	△ 40	第6回普通社債（2013年5月償還） ▲50.0
その他	263	283	19	
固定負債	438	434	△ 3	
借入金・社債	254	253	△ 1	
その他	184	181	△ 2	
負債合計	932	921	△ 11	
株主資本合計	985	1,112	127	
資本金・資本剰余金	164	164	0	
利益剰余金	904	1,047	143	
自己株式	△ 83	△ 99	△ 15	自己株式取得（2013年11月：1,500千株） ▲14.7
その他包括利益累計額	15	102	86	
少数株主持分	142	249	107	
純資産合計	1,143	1,464	321	

（TH：宝HLD、TS：宝酒造グループ、TB：タカラバイオグループ）

宝HLD連結_キャッシュ・フロー：営業CF～投資CF

（2014年3月期）

（単位：億円）	13/03期 実績	14/03期 実績	増減
営業キャッシュ・フロー (a)	79	72	▲ 7
税金等調整前当期純利益	92	186	93
減価償却費	42	42	0
売上債権の増減額（▲：増加）	5	7	2
たな卸資産の増減額（▲：増加）	0	▲ 24	▲ 24
仕入債務の増減額（▲：減少）	▲ 12	4	17
未払酒税の増減額（▲：減少）	▲ 6	▲ 15	▲ 8
法人税等の支払額	▲ 35	▲ 35	▲ 0
その他	▲ 6	▲ 94	▲ 88
投資キャッシュ・フロー (b)	▲ 36	▲ 122	▲ 85
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 53	▲ 83	▲ 29
有形固定資産の売却による収入	17	0	▲ 16
関係会社株式の売却による収入	6	122	116
連結範囲の変更を伴う子会社株式・出資金の取得等による支出	▲ 0	▲ 57	▲ 56
その他	▲ 5	▲ 104	▲ 99
フリー・キャッシュフロー (a+b)	42	▲ 50	▲ 93

宝HLD連結_キャッシュ・フロー：財務CF～期末残高

（2014年3月期）

（単位：億円）	13/03期 実績	14/03期 実績	増減
財務キャッシュ・フロー	12	25	13
社債の発行及び長期借入による収入	99	0	▲ 98
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	▲ 51	▲ 51	0
自己株式の取得による支出	▲ 15	▲ 15	0
配当金の支払額	▲ 18	▲ 18	0
その他	▲ 1	109	111
現金及び現金同等物増減	61	▲ 6	▲ 68
現金及び現金同等物期首残高	291	352	61
現金及び現金同等物期末残高	352	346	▲ 6

宝HLD連結_P/L概要

（2015年3月期 第2Q累計 業績予想）

（単位：百万円）	12/03期 2Q累計計画	前期比 増減	前期比 率(%)
宝酒造G	88,300	2,587	3.0
タカラバイオG	11,038	761	7.4
宝ヘルスケア	770	95	14.2
その他	892	△ 5	△ 0.6
売上高	101,000	3,438	3.5
売上原価	63,000	2,391	3.9
売上総利益	38,000	1,046	2.8
販管費	35,430	871	2.5
宝酒造G	1,600	136	9.3
タカラバイオG	457	2	0.6
宝ヘルスケア	8	13	ー
その他	505	23	4.9
営業利益	2,570	174	7.3
経常利益	2,570	5	0.2
当期純利益	1,250	△ 5,359	△ 81.1

宝酒造G_P/L概要

（2015年3月期 第2Q累計 業績予想）

（単位：百万円）	15/03期 2Q累計計画	前期比 増減	前期比 率(%)
焼酎	31,200	Δ 1,928	Δ 5.8
清酒	9,200	831	9.9
ソフトアルコール飲料	14,100	Δ 367	Δ 2.5
その他酒類	6,300	313	5.2
本みりん	6,500	Δ 311	Δ 4.6
その他調味料	4,300	359	9.1
原料用アルコール等	3,200	15	0.5
日本食材卸	7,100	3,754	112.2
その他	6,400	Δ 78	Δ 1.2
売上高	88,300	2,587	3.0
売上原価	57,200	1,960	3.5
売上総利益	31,100	626	2.1
運送費、保管料	3,500	156	4.7
広告宣伝費	1,400	Δ 382	Δ 21.4
販売促進費等	15,400	Δ 200	Δ 1.3
研究開発費	200	33	20.4
管理費、その他	9,000	883	10.9
販管費	29,500	490	1.7
営業利益	1,600	136	9.3

為替レート（子会社P/L換算用レート）

●単年度

（単位：円）	13/03期 (12年1月-12月)	14/03期 (13年1月-12月)				15/03期 (14年1月-12月)	
	実績	11/1予想	実績	前期差	11/1予想差	予想	前期差
ドル	79.81	97.00	97.73	+17.92	+0.73	96.00	-1.73
ポンド	126.46	150.00	152.79	+26.33	+2.79	152.00	-0.79
ユーロ	102.56	128.00	129.78	+27.22	+1.78	130.00	+0.22
元	12.66	15.70	15.92	+3.26	+0.22	16.00	+0.08
100ｳｫﾝ	7.09	8.70	8.93	+1.84	+0.23	8.50	-0.43
ｲﾝﾄﾞﾙﾋﾟｰ	1.50	1.60	1.68	+0.18	+0.08	1.50	-0.18

●中期経営計画

（単位：円）	11/03期 (10年1月-12月)	14/03期 (13年1月-12月)				17/03期 (16年1月-12月)	
	実績	予想（中計2013）	実績	11/03期差	予想差	予想（中計2016）	11/03期差
ドル	87.79	80.00	97.73	+9.94	+17.73	96.00	-1.73
ポンド	135.53	130.00	152.79	+17.26	+22.79	152.00	-0.79
ユーロ	116.28	110.00	129.78	+13.50	+19.78	130.00	+0.22
元	12.96	12.50	15.92	+2.96	+3.42	16.00	+0.08
100ｳｫﾝ	7.59	7.00	8.93	+1.34	+1.93	8.50	-0.43
ｲﾝﾄﾞﾙﾋﾟｰ	-	-	1.68	-	-	1.50	-

※インドルピーはタカラバイオDSSインド設立（2011年5月）以前のデータなし